

ロゼ

文化情報誌 ロゼ
ROSE THEATRE
ART INFORMATION OF FUJI CITY
CULTURE MAGAZINE ROSÉ

VOL. 45 2003



ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 2003年10月発行(第45号)
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416-0953 富士市藤原町1750番地 TEL(0545)60-2510(代)
企画・編集・製作 (財)富士市文化振興財団事業課企画広報係 株式会社アドシブ

軽部 真一

かるべ しんいち

静岡県内で「めざましクラシックス」(以下「めざましクラ」)の開催は、何と四回目になるそうですね。長泉、浜松、大井川と続いて、今回はいよいよ富士と、どうでしょうか。静岡の印象は?

軽部 ひと口に「静岡」といっても、四回とも場所が違うので、常に新鮮な雰囲気の中でやらせてもらっている感じがします。ただ僕の場合、子供のころ沼津に住んでいたことがあるんです。だから静岡は、そんな親しみのある、思い出深い場所であることはいえます。

高嶋 静岡の人って、音楽好きが多いという印象がありますね。いつもみんな一生懸命聴いてくれる。

軽部 地方公演だと、東京でいつもやっている定期公演と違って、僕らを初めて迎えてくださるお客さんがほとんどなんです。

だから普段とはちよと違う空気感、緊張感というのはあります。それでも、どこへ行っても皆さん暖かく迎えてくださる。

高嶋 ちさ子

たかしま ちさこ

高嶋 でも場所によっては、最初のうち何が始まるかわからないから、お客さんが探つてくる状態で、ちよときになかったりもするのね。でも、だんだん温まってくるとみんな和んできて楽しんでくれるようになる。お客さんがクレッシェンドしていく感じ。

軽部 ありますね。そういう意味では全国の中でも静岡は、どこもすごくホットでいいお客さんだったという印象が強い。長泉も浜松も、大井川もそうだった。僕らとしては乗せてくれるお客さんという感じがあつてとてもやりやすい。静岡人の気質なんですよ。

高嶋 あと地方公演といえは、その土地の美味しいものを食べたりするのも、楽しみのひとつだったりしますね。そういえば浜松の時は、早めに行つて饅食べました。(笑)

軽部 「めざましクラ」はコンサートそのもの、かなり(時間が)長いんですけど、その後がまた長いんですよ。打ち上げで、必ず何かが起こる!というのも静岡だよな。

高嶋 確かに。静岡は色々なことがあつたよね。スゴすぎて、ちよと言えないかなあ。

軽部 浜松の時も、大井川の時も、盛り上がりすぎちゃったもんね。(笑)

高嶋 富士公演は、どうなりますかねえ。楽しみです。

さて「めざましクラ」ですが、今年のはじめに五〇回公演を達成されたそうですが、そもそもこの「めざましクラ」が誕生したいきさつは?

高嶋 五〇回以上も続けてこられて、お二人の中で「めざましクラ」は、どんな存在なんだろう?という疑問が、いろんな意味で、番遊べるコンサート。音楽でも遊べるし、トークでも遊べる。「したい事」が全部できる。大編成のオーケストラを交えてとなると、ちよと難しいけど、自分のやつてみたいことのほとんどができてしまう。とにかく一番楽しい仕事。もう仕事じゃないかもしれない!もうずーっと続けていこうと。

軽部 僕の場合「めざましテレビ」を、もう十年間やってますから、こちがメインの仕事なんだけど、「めざましクラ」は、既にライフワークというか、もうひとつのメインの仕事といえるくらい存在です。仕事じゃないですかね、やつぱり。

高嶋 そうだよ。歌ってるんだもん!

軽部 ホントそうです。趣味ですね。

高嶋 そうそう。二人とも趣味になつていく!

軽部 僕のようなテレビの人間にとつて、舞台つてとても魅力的なんです。目の前に

いるお客さんの反応、空気を読みながら、作っていく。生まれていく。もちろん怖さもあるけど、成功した時の喜び、感動というのは、テレビとはまた違う確かな手応えがある。僕は子供のころから根柢からの音楽ファンで、ずっとクラシックを聴いてきたんです。でも小学生くらいの頃つて、なかなかクラシックファンつて言えなかったんですね。友達減りそうで(笑)。それが今や堂々と、クラシックコンサートをプロデュースしていると言えるようになった。「音楽ファンなのに、音楽に携わる仕事をさせてもらっている。すごく恵まれているなあと思います。」

誰の人生でも、何人かの重要な人との出会いが、必ずありますよね。個人的なパートナーだとか、いろいろと。高嶋ちさ子さんとの出会いというのは、僕にとつて五人だか十人だか分からないけど、そういうレベルの出会いのひとつである事は間違いない。

高嶋 よし! (笑)でも出会いといつたら、「一緒に「めざましクラ」を作っているメンバーや、スタッフも、本当に素晴らしい人たちに巡り会えました。それぞれに「めざましクラ」のことが好きで、「一人一人自分のコンサートという思いで、取り組んでいる。ものすごくこだわりの持っている。そしてそれが回を重ねるうちに、ますます強固なものになつてきた感じがするんです。」

軽部 そうだよ。みんな音楽が好きで、「めざましクラ」が好きで、楽しんでる。そんなスタッフが神輿を担いでくれて僕らがあるのかなというところは感じています。いいチームじゃないと長くは続かないんだよね。

さて富士公演は十二月十三日ですが、どんなコンサートになるんでしょうか?

軽部 はっきりとプログラムは決まっています。

せんが、静岡ではまだCD「めざましクラ3」の曲はやってないので、「めざましクラ3」からの曲が中心になるでしょうね。

高嶋 だから、CD買つてから来てくださーい。(笑)

スペシャルゲストには来生たかおさんをお招きしますね。こちらも楽しみなんですが、来生さんってどんな方なんですか?

高嶋 物静かで、朴訥な方なんですけど、不思議な面白さがありますよ。

軽部 いろいろなゲストの方をお招きしますけど、際立つたおとなしさというか、その来生さんにお二人がつづむ。

高嶋 かなりツツこみますね、二人で。軽部 そう。物静かな来生さんと我々のメリハリの利いたコントラスト。そのあたりが面白い。

高嶋 皆さんの知らない来生さんをご紹介できたらと思っています。

では、最後に静岡のファンにメッセージを。高嶋 完売と聴いてびっくりです。皆さんの期待を裏切らないような、楽しい、抱腹絶倒のコンサートに。そして素晴らしい音をお届けしたい。



CAST

劇団シアタージャパン
夏 夕介

中村 瑞希	ヤマト
奥住 昌敏	畑ヶ山 友美子
市村 敬恵子	宮下 美和
PON	中谷 真希枝
横野 敏	尾島 佐知子
松田 真一	大岩 かおり
池田 敏子	萩 美沙樹
進の助	村上 潤
真田 孝平	結城 しおり
谷合 あずさ	澤根 正樹
山田 岬	宮ノ原 寿美

市民キャスト

嶋 崇良	横沢 史織
井出 紗織	久松 靖子
西家 貴絵	佐野 恭史
鈴木 祥子	南部 まり子
小林 安江	富士 友紀子
小川 純子	佐野 美帆
佐野 美紀	志田 澄美
石部 優	小林 紗依
小林 美穂	花田 ミナ
望月 幸子	後藤 歩
真野 晴名	

STAFF

演出・脚本・振付 三浦 克也
音楽 大澤 紀彰
舞台監督 川口 雄一郎
美術 小池 あけみ
照明 須藤 淳
音響 長谷川 圭一
衣裳 伊藤 かよみ
歌唱指導 辻村 典枝
舞台監督助手 渡辺 孝一
渡辺 善和
前田 敏宏
林 真央
佐野 務
建部 佳紀
斉藤 誠
近藤 大亮
大石 勝規
金子 悦子
仁藤 里枝
斉藤 晶子
牧野 ちや子

照明オペレーター

照明ムービング
音響オペレーター
シアタージャパン稽古ピアノ
市民キャスト稽古ピアノ

市民CAST衣裳
市民CAST衣裳製作

美術製作
美術協力

監修
制作
企画・製作

開催日 2003年9月27日(土)・28日(日)
開催場所 富士市文化会館ロゼシアター中ホール
主催 財団法人富士市文化振興財団
後援 富士市教育委員会
富士市PTA連絡協議会
富士市子ども会世話人連絡協議会

誰も彼もわたしのこと 忘れてる寂しい気持ち

泣いてるよ、わたしは誰

そっとドアを叩いて のぞいて欲しいのに

隣りにいて話を聞いて 笑顔を見せてよ

何も見えない聞こえない感じない何も

心の扉開くカギ 翼広げ迎えに来て

HAND in HAND 忘れないその手の温もり
暖かい眼差し 初めて感じたよ
HAND in HAND 溶かして流して許して
震えてた私の心 HAND in HAND
捕まえてよ CATCH MY HEART

そんな中、
クラスみんなはさらにバラバラになつていく。
はたして再びみんなに笑顔が戻る日は
やつて来るのだろうか。

また不登校になったチビのイジメは家にまで及ぶ。
チビの両親はただただ戸惑うばかり……

同時に薬物中毒であることが判明。
チビをここまで追い詰めた過去とは……

なんとか命をとりとめたチビだったが、
同時に薬物中毒であることが判明。
チビをここまで追い詰めた過去とは……

誰もが予期しなかった出来事に
クラス中が騒然となり、
次第に不協和音が広がりはじめ、
そしてその日以来不登校になるチビ。

ついにみんなの前でキレた。
さらには自分のおかれていた状況に耐えかね
飛び降り自殺を図る。

平成十五年九月二十七日・二十八日、ロゼ
シアター中ホールは感動の渦に巻き込まれ
た。涙する人、ハンカチで目頭を押さえる人、
そして終演しても客席に座ったまま余韻に
浸る人……

この感動を引き起こしたのは、劇団シアター
ジャパンと市民キャストの共演で行なわれ
た、ミュージカル「HAND in HAND」
心と心の回想録」。

平成十五年七月五日(土)、ロゼシアターの
市民参加ミュージカルでは初となるオーディ
ションが開催され、十四名の市民キャスト

が誕生。そして、惜しくもオーディションで
不合格になってしまった者の中から七名が
聴講生となり、ロゼシアター開館十周年記
念ミュージカル「HAND in HAND」
心と心の回想録」は歩き始めた。

総稽古日数十五日間という限られた時間
の中で、自分の持つ全ての技術を駆使し稽
古を繰り返す。しかしプロと同じステイジ
に立つということは、並大抵の努力ではか
なわない。市民キャストも聴講生も、体の節々
が悲鳴をあげている中でなお自分の体を酷
使し、歌い続け、踊り続ける。演出家の一言

言に耳を傾け、吸収し、切磋琢磨する。
七名の聴講生も、本番のステージに出られ
ることになり、総市民キャスト二十一名は
更なる技術の向上のため稽古を積みプロ
に勝るとも劣らない技術と、意識を手に入
れた。

そして迎えた本番。今までの市民ミュージ
カルとは全く違う緊張の中、ミュージカル
「HAND in HAND」心と心の回想録
」は幕を開けた……

STORY

ロゼシアター開館十周年記念ミュージカル

HAND in HAND 心と心の回想録

古楽器によるモーツァルト、クラリネット五重奏曲！

クイケン・クワルテット

その魅力と来日公演によせる期待

音楽評論家 高橋 昭

現在バロック音楽と古典派音楽、それに初期ロマン派音楽について、同時代楽器（ピリオド・インスツルメント、オリジナル楽器とも言われる）による演奏を抜きにして語ることはできない。少数の先駆者によつて、個々に始められた動きが演奏者にも音楽愛好者にも受け入れられて大きな流れとなり、今日では通常の現代楽器（モダン・インスツルメント）による演奏にまで、様々な形で影響を与えている。

その流れの中で、際大きな水脈を形づくっているのがフランドル（ベルギー）とオランダの音楽家たちで、特にジグスヴァルト（ヴァイオリン）、バルトルド（フルート・トラヴェルソ）、ウィーラント（チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ）のクイケン三兄弟は、指導的な役割を果たし、今日では彼らに学んだ次の世代の演奏家が世界中で同時代楽器による演奏を担い、それを広めている。

クイケン三兄弟は、ソロ活動から出発して小アンサンブルに進み、一九七二年にはバロック・オーケストラ「ラ・プティット・バンド」を結成した。そしてこのオーケストラの中心メンバー、具体的には、ジグスヴァルトとウィーラントのクイケン兄弟が主体となつて、一九八六年に結成されたのがクイケン・クワ

クイケン・クワルテット Kuijken String Quartet

シグスヴァルト・クイケン Sigiswald Kuijken (第1ヴァイオリン)
フランソワ・フェルナンデス Francois Fernandez (第2ヴァイオリン)
マルレーン・ティアーズ Marleen Thiers (ヴィオラ)
ヴィーラント・クイケン Wieland Kuijken (チェロ)



ルテットで、それ以来、彼らは着実に活動を続け、現在も同時代楽器による弦楽四重奏の先頭を切っている。

クイケン・クワルテット以前にも同時代楽器による弦楽四重奏団は存在したし、今も存在する。しかしクイケン・クワルテットが今日も活動を続け、彼らの演奏が多く、の音楽愛好家に受け入れられているのは理由がある。それは彼らの演奏が自らの切り拓いた様式への確固たる自信と、それを具体化する技術を裏付けられているからで、そのために彼らは同時代楽器の音色、響き、奏法を徹底的に研究して作品本来の音楽様式を再現することを目指してきた。

を異にするにも拘らず、聞き手に同時代楽器の存在理由と、音楽本来の姿を納得させるからである。

ピッチの低いガット弦と張力の弱い弓が生み出す、くすんだ音色と潤いのある響きが第二の特徴で、それは音楽から華やかな明るさよりも、落ち着いた情感と奥行きを深さを引き出す。このような楽器と弓の機能は、現代楽器のように早いテンポで演奏するには向かないが、二つの楽器に表情をもたらし、音楽全体の雰囲気がかさねる。従って現代楽器の、どちらかといえばストレートな演奏を聴きながら耳には、最初こそ違和感を持たせるかもしれないが、聴いていくうちに音楽が内蔵する表情の豊かさに気づくのである。

今回の来日公演でとりあげられるモーツァルトの「ハイドン・セット」からの二曲、ト長調と「春」とハ長調（不協和音）は、そのことを端的に示している。彼らの「ハイドン・セット」全曲録音は、我が国でも高く評価されているが、その演奏は我々が聴きながら現代楽器による演奏とは、かなり様式

彼らの演奏は、現代楽器による若い世代の弦楽四重奏団にしばしば聴かれる攻撃的な演奏の対極にある。しかしそれは彼らの演奏にエネルギーが不足することを意味しない。むしろ彼らはエネルギーの配分にこまかく神経を使っており、それは特に

モーツァルトの音楽のように強い意志と、豊かな感情が交錯する場合、演奏に自然な流れをもたらしことになる。

クイケン・クワルテットは、一九九六年に初来日したが、その後も一九九九年、二〇〇二年に来日し、我が国の音楽愛好家の間で高く評価されており、今回の来日はその動きをさらに加速させるものである。加えて今回彼らは、モーツァルトのクラリネット五重奏曲を取り上げる。当時のクラリネットは現代の楽器とメカニズムの点でも、音色の面でもかなり異なっており、それだけに優れた演奏家は限られている。

今回のソリスト、ロレンツォ・コッポラは、この楽器の名手エリック・ヘブリッヒに学び、既にヨーロッパで幾つかの同時代楽器のオーケストラと共演している。モーツァルトの在世時に開発されたこの楽器が同時代の弦楽器と共演する時、我々は初めてこの作品本来の姿を知り、楽しむことができる。落ち着いた弦の流れにクラリネットが加わる時の期待と興奮を味わえる機会は、稀にしか得られない。



ロレンツォ・コッポラ Lorenzo Coppola
(ヒストリカル・クラリネット)
オランダの王立ハーグ音楽院でE.ヘブリッヒのもとでヒストリカル・クラリネットを学んだ。レザール・フロリサン、ラ・プティット・バンド、18世紀オーケストラなどと共演。アンサンブル・ゼフィロ、フライブルグ・バロック・オーケストラのメンバーとしても活躍。イタリアのプラートとウルビーノで教鞭をとっている。

音楽評論家 高橋 昭 プロフィール
一九一七年東京生まれ。早稲田大学文学部卒。在学中から「ディスク」誌のLP評を執筆。その後「P手帖」誌「ステレオ」誌を経て現在は「レコード芸術」誌で室内楽月評を担当。著書に「CD名曲名鑑」〇〇「協奏曲」（音楽之友社）。LP、CD解説を多数執筆。



クイケン・クワルテット演奏会

11月22日(土) 小ホール

開場18:30 開演19:00

●入場料(全席指定)一般5,000円・学生2,500円

オール・モーツァルト・プログラム

弦楽四重奏曲 Kv.387(ハイドン・セット「春」)
弦楽四重奏曲 Kv.465(ハイドン・セット「不協和音」)
クラリネット五重奏曲 Kv.581

2003.11.22
公演予定

8 10
(日) **ブロードウェイミュージカル 大ホール**
ピーターパン



- すごくダイナミックで子供はもちろん大人も楽しめました。子供は特に吸い込まれるように見ていました。(富士宮市 30歳代 女性)
- 最後のピーターパンが飛んで来て、妖精の粉をふりかけるシーンが感動的でした。これから親子で楽しめるミュージカルを企画して下さい。(富士川町 30歳代 女性)
- 感動しました。ネバーランドへ旅した気分です。子供が終演後、瞳をキラキラ輝かせておりました。ありがとうございました。(富士市 30歳代 女性)

9 10
(水) **中村真紀子 中ホール**
ヴァイオリンリサイタル



- 同じ小・中学校を卒業している先輩がこんなに活躍していることがすごいと思う。私も音楽の美しさが伝わってきました。とてもすばしかったです。(富士市 女子中学生)
- 華のある将来が楽しみなヴァイオリニストだと思います。伴奏のピアノもすばらしく息のピッタリ合った、心に響く演奏会でした。(富士市 50歳代 女性)
- 新進の国際的奏者に接しうれしい。富士市から世界にはばたき、一層の飛躍を祈念します。(富士市 50歳代 男性)

9 17
(水) **創作能 大ホール**
「赫夜」・狂言の夕べ



- なじみのある「竹取物語」ですので、とても解りやすく、すばらしい衣裳と舞を堪能しました。(富士宮市 50歳代 女性)
- かぐや姫と国司が二人で舞う姿の美しさに感激しました。「石橋」は囃子方の熱演ぶりが素晴らしいかったです。お目当ての野村親子は絶妙のコンビネーションでした。(富士市 40歳代 女性)
- 狂言「蝸牛」がとても良かったです。万作さん、萬斎さんの息の合った演技がたいへん素晴らしいかったです。うそくを使った舞台演出もとても幻想的でした。(愛知県 30歳代 女性)
- 地元の伝説が身近に感じ、能を興味深く鑑賞しました。また機会があれば何回も上演してほしいと思いました。(富士市 50歳代 女性)

7 11
(金) **中ホール**
チェン・ミン
二胡 LIVE 2003



- チェン・ミンさんが美しく、音楽にも表情にもうっとり!! とても美しい響きでした。(富士市 50歳代 女性)
- 二胡という楽器は知っていましたが、ここまできれいな音でびっくりです。(富士市 女子小学生)
- やはり「生」は最高です。私も二胡を習い始めました。(静岡市 30歳代 女性)
- 演奏はとても雄大で、シルクロードの世界を感じられました。舞台の演出もチェン・ミンさんの雰囲気にとっても合っていました。パーカッションもおもしろかった。(富士市 50歳代 女性)

松竹大歌舞伎公演 中ホール
十代目 坂東三津五郎
襲名披露

- 初めて歌舞伎の生の舞台をみました。やはり本物は素晴らしいと思います。邦楽や歌舞伎も生で味わうとこんなに素晴らしいものだったのかと改めて感じました。(富士市 40歳代 男性)
- 東京歌舞伎座まで出掛けて行かなくてもこんなに近くで歌舞伎観劇ができるのは大きな喜びです。毎年、ロゼの公演を楽しみにしています。三津五郎さん、素晴らしいかったです。(富士市 70歳以上 女性)
- 襲名披露の口上を初めてみましたので、印象深く心に残りそうです。(富士市 60歳代 女性)



7 6
(日) **新日本フィルハーモニー 大ホール**
交響楽団 演奏会
荘厳ミサ曲



- 素晴らしい一言につきる。市民合唱団がこれ程のレベルに育つとは思わなかった。(富士市 50歳代 男性)
- 合唱団、ソロ、オーケストラとも素晴らしい。聴き入っていました。(富士市 40歳代 女性)
- すばらしい指揮と演奏。まさしく荘厳な気持ちにさせられました。(山梨県 60歳代 女性)
- 心からありがとうございました。(山梨県 60歳代 女性)
- 主人から結婚してはじめてのプレゼントです。ベートーヴェンについて何も知らない私がこのような演奏会に来れましたこと、ありがとうございます。神への感謝、民衆の願いが伝わってまいりました。(静岡市 40歳代 女性)

Event Report
FLASH BACK
フラッシュバック

平成15年度前期自主事業(4月~9月まで)を、それぞれの催物に寄せられたアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。
※サインは公演当日出演者からいただいたものです。

5 25
(日) **2003 MAYコンサート 小ホール**



- 将来の大きな可能性を秘めた若さあふれるような演奏会を楽しませて頂きました。これからの活躍をお祈りいたします。(富士市 60歳代 女性)
- 若い方の演奏、皆さんすごかったです。今の心をいつまでも持ち続け、今後もすばらしい演奏をなさして下さい!(富士市 40歳代 女性)

5 30
(金) **ケヴィン・ケナー 中ホール**
ピアノリサイタル



- ピアノが小さく見える大きな体で細やかな演奏に心をうたれました。素晴らしいリサイタルありがとうございました。(富士市 60歳代 女性)
- たいへんすばらしい演奏でした。今後も世界的に活躍している方をよんでいただきたいと思ひます。(富士宮市 50歳代 女性)
- 前半のシューベルト、そしてラヴェル、ショパンとそれぞれに音色に変化があり、素晴らしい演奏でした。久しぶりにピアノ演奏を聴いて、深呼吸することができ、心と体いやされました。(富士市 50歳代 女性)

4 20
(日) **ゴスペル 中ホール**
SOUND OF JOY



- ゴスペルを聞くと元気になったり、心が洗われたりする。その感覚が好きです。今回の公演も本当に素晴らしい時間をいただきました。(富士市 20歳代 女性)
- 皆で一体感が出る感じ、ありがとうございました。(富士市 20歳代 女性)
- ゴスペルは大きな音は全く耳にしなかった。言葉は全く判らないけれど、ハーモニーのモダンとハイカラさ、こんな素晴らしい歌声に感動し、思わず体全体に強く響きました。年齢を忘れさせてくれました。(富士市 80歳代 女性)
- 楽しかったです。富士まで来たかがありました。世界中が歌声や演奏音じゃなくて歌声や音楽でいっぱいになればいいなと思いました。(埼玉県 30歳代 女性)

4 24
(木) **NHK-BS 大ホール**
日本のうた 公開録画



- 10周年記念を飾った豪華プログラム。おなじみのスターたちがロゼの舞台で「天城越え」「旅姿三人男」「ちやっけり節」などご当地ソングを披露しました。

5 13
(火) **宝塚歌劇 大ホール**
星組公演
蝶・恋(ディエリエン)〜燃え尽きるとも〜
サザンクロス・レビューIII



- 新トップの湖月さん、檀さん、とても華やかでお似合いだと思います。これからの星組が楽しみです。(沼津市 40歳代 女性)
- ロゼに宝塚が来てくれてとても感謝しています。又ぜひ宝塚を呼んで下さい。切に希望します。(富士市 40歳代 女性)
- 何とんでも宝塚らしい久しぶりの演目で、こういう地方ではすごく良い作品だと思う。(田方郡 50歳代 男性)

ふじ少年少女 芸術劇場 **小学生招待コンサート**
静岡交響楽団



ふじ少年少女 芸術劇場 **中学生招待コンサート**
新日本フィルハーモニー交響楽団



掲示板

ロゼシアター公演展 作品募集!

新進アーティスト作品展



前掲優秀作品 長田 俊広

受付期間 2003年11月1日(土)~2月24日(火) 必着

審査員 長谷川 栄 (東京国立博物館名誉館員、品川区美術館館長、おかしき世界子ども美術博物館館長、国際美術評論家連盟会員、行動美術協会彫刻部会員、フランス・シュバリエ芸術文化勲章叙章)
長岡 宏 (静岡大学名誉教授 無所属 美術家)

応募要綱 【作品ジャンル】(展示する上での分類)

平面作品: 絵画、版画、写真、レリス、コンピュータ・グラフィック等の手法を用いた平面作品
立体作品: 彫刻、オブジェ等
インスタレーション

【作品サイズ】

平面作品...S100号(162.1cm×162.1cm)以内 重量20kg以内
立体作品...高さ300cm×幅300cm×奥行き300cm以内 重量50kg以内
インスタレーション...高さ300cm×幅300cm×奥行き300cm以内 重量50kg以内

応募資格 ●作家を志し、美術を通して表現することに情熱をかけている人。
●産原3町を含む静岡県東部 出身者および在住、在学、在勤の人。
●18歳~35歳まで(H15.4.1現在) 以上の条件をすべて満たしている方

賞 優秀賞: 賞金10万円・賞状・副賞 佳作: 賞状・副賞
※3月21日(日)の交流会の中で表彰式を行います。

応募方法 応募には所定の「応募用紙」が必要です。
※詳細はお問い合わせ下さい。

主催・企画・協賛

(財)富士市文化振興財団 新進アーティスト作品展 係
〒416-0953 富士市藤原町1750番地
Tel.0545-60-2512 Fax.0545-60-2505

鼓童ワークショップ

平成15年7月26日(土) ロゼシアター大ホール



10月14日の鼓童本公演を前に市内太鼓団体を対象にワークショップを開催しました。
参加者の25名は、斎藤栄一さんのユニークな指導のもと、約2時間汗を流し、和太鼓の醍醐味を味わっていました。

平安の聖跡を訪ねる

平成15年9月17日(木)



公演当日の昼下がり、「藤夜」の出演者は、富士市比奈にある竹採公園を訪れました。延暦年中この籠煙の地に翁夫婦が住んでいたといわれ、「和名抄」にも地名の里として残されています。一行は自然竹の中に静かな時を刻む竹採塚に、能「藤夜」を重ねていました。

11/1 ロゼシアター開館10周年記念 特別企画 「中村玉緒トークショー」



応募総数 2707通
たくさんのご応募ありがとうございました。

ロゼネット

◇ロゼシアター開館10周年記念ミニ・ジカル「H A N D i n H A N D i n」心と心の回想録。無事終了しました。観ていただいた方がおわかりだと思いましたが、感動的なストーリー、物語に入り込んでしまおうとホロリときてしまいます。そして、早くも再演を希望する声が上がっていますが、見逃してしまつた方も一度観た方に朗報。十月にケーブルテレビで放映いたします。詳しい日程はロゼシアター企画広報係までお問い合わせ下さい。

編集担当

表紙 中村真紀子 (ヴァイオリニスト)



◎チケットのお申込み・お問い合わせ ロゼ・チケットセンター ☎0545-60-2500 富士市藤原町1750番地 9:00~19:00

◎プレイガイド ●すみや富士中央店 ☎0545-60-4567
●富士市民センター ☎0545-61-6262
●ラ・ホール富士 ☎0545-53-4300
●タナフ楽器富士支店 ☎0545-52-1586
●谷島屋富士松岡S ☎0545-60-1150

●カフェ書店 富士藤原店 ☎0545-71-9592
●富士宮・宮原店 ☎0544-24-7160
●マルサン書店沼津仲見店 ☎055-963-0350

●ユーザーサービスカウンター 吉原店 ☎0545-51-9027(代)
●ユーザーサービス富士宮店 ☎0544-24-6777(代)
●吉原商店街ビル〜ホテル ☎0545-51-5227

ロゼシアターホームページアドレス <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~rose/> e-mail rose@city.fuji.shizuoka.jp

みなさんとロゼを結ぶホットライン! イベント情報・館内情報・トピックスなど盛りだくさんの内容です。



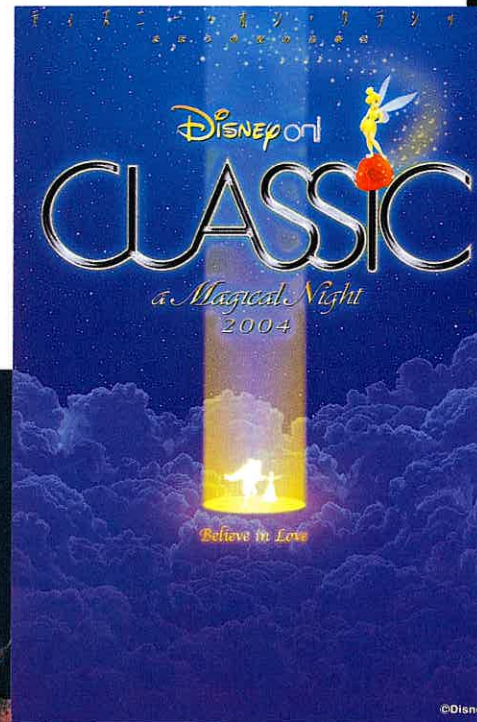
ディズニー・オン・クラシック ~まほうの夜の音楽会2004~ 制作発表

ディズニー・オン・クラシック~まほうの夜の音楽会2004~
1月25日(日)ロゼシアター公演の制作発表が9月東京都内で行われました。会場にはウォルト・ディズニー・ジャパン代表の星野康二氏をはじめ、指揮・編曲のブラッド・ケリー氏「美女と野獣」のベル役のペイジ・オハラさん(ゲストヴォーカル)ほか、ナビゲーターfumikoさん、東京フィルメンバーが登場し、公演に向けての挨拶が行われました。

1928年ウォルト・ディズニーはミッキーマウスをはじめ、たくさんのアニメを全世界に出して以来、ディズニーは世界中の人々に夢を与え続けてきました。このディズニー・オン・クラシックでは新たな夢の世界を皆様にお伝えすることができるでしょう。(星野代表)

ペイジ・オハラ PAIGE O'HARA (ヴォーカル)

アカデミー賞受賞作品「美女と野獣」のヒロイン「ベル」の声を務める。今回は3度目の来日「全国16ヶ所の公演は今から待ちきれない」と話します。「美女と野獣」のベル役のオーディションでは「ライザー・ミネリー」も姿をみせた500人の中から選ばれました。



ブラッド・ケリー BRAD KELLEY (指揮・編曲)

2002第1回「ディズニー・オン・クラシック」の指揮者としてデビュー。今回世界で初めて演奏される「イルミネーションズ・リフレクション・オブ・アース」は地球、大地の移り変わりを表現した壮大なオーケストレーションに聴く人はみな圧倒されることでしょう。

「ディズニー・オン・クラシック」のテーマは「Believe in Love」。愛を信じることで、とても大切なのに、とても難しいこと。でもそれができたとき、あらゆる困難が克服されて大きな力となることをウォルト・ディズニーは知っています。人生における全ての美しい要素で「夢」「優しさ」「勇気」「希望」「友情」そして「愛」なのです。プログラムの第1部はディズニーの人気音楽のオンパレード、夢がいっぱい詰まった音楽が会場を満たしてくれます。第2部は愛の力で魔法を解いた「美女と野獣」のシーンが蘇るような曲が演奏されます。ベル役のペイジ・オハラとビースト役のマイケル・ビオンテックがスペシャルゲストとしてステージを飾ります。



左よりミニーマウス、星野康二氏、ブラッド・ケリー氏、ペイジ・オハラさん、fumikoさん、ミッキーマウス

ディズニー・オン・クラシック ~まほうの夜の音楽会2004~

1/25 [日] 18:00開演 (17:30開場)
富士市文化会館ロゼシアター 大ホール
S:¥8,000 A:¥6,000 B:¥4,000 (学生¥2,000) (消費税別)

指揮・編曲・BRAD KELLEY ブラッド・ケリー
ゲストヴォーカル・PAIGE O'HARA ペイジ・オハラ(ディズニー・アニメーション「美女と野獣」のベル役、オリジナルキャスト)
MICHAEL PIONTEK マイケル・ピオンテック(ブロードウェイ「美女と野獣」全米ツアーの野獣役)
オーケストラ・東京フィルハーモニー交響楽団「ネバーランド・オーケストラ」
ナビゲーター・fumiko

「美女と野獣」、「アラジン」、「ライオン・キング」、その他

